

## 重点テーマの設定

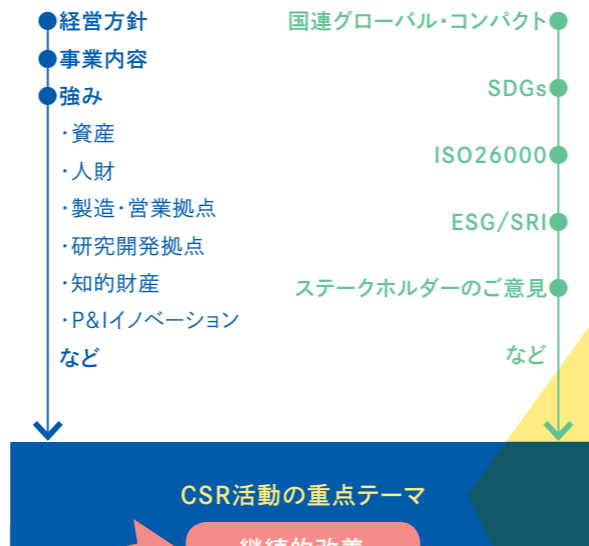
～注力すべき活動を特定し継続的に推進する～

企業は人財や資源、エネルギーなどを社会に依存して事業活動を行っており、健全な社会があってはじめて成り立ちます。DNPでは、社会と自社とがともに持続的な成長を遂げていくために、取り組むべき11の重点テーマを設け、活動を進めています。

DNPはCSR活動において推進すべき11の重点テーマを設定しています。

重点テーマの設定では、DNPの経営方針、事業内容と強みなどから継続して注力すべき課題を抽出し、その重要度、優先度を多角的に検討しています。同時に、国連グローバル・コンパクトの10原則、持続可能な開発目標(SDGs)、社会的責任に関する国際的ガイドラインISO26000などを中心に、関連する国際条約・国際協定、ESG/SRI(社会的責任投資)が重要視する社会課題、各ステークホルダーからのご意見など、「社会の視点」を取り入れ、総合的な分析の上でCSR活動の重点テーマを設定しています。

また、各重点テーマで定めた目標は、1年1サイクルとして、実績の確認と評価、および次年度の目標設定を行うPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを実践。CSR活動の継続的な改善を行っています。



国連グローバル・コンパクト(GC)は、企業・団体各々が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することで、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組みです。DNPは2006年7月に賛同を表明。GCが定める「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の10原則を支持し、これらの精神をグループ経営に反映させていくように努めています。また、ローカルネットワークである、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンにも加入し、日本企業との連携を図りながら活動を推進しています。

### 第1の責任



社会の発展への貢献

→11-22ページ

### 第2の責任



人類の尊厳と多様性の尊重

→25ページ



製品・サービスの  
安全性と品質の確保

→27ページ



サプライチェーンを通じた  
社会的責任の推進

→29ページ



企業市民としての社会貢献

→31ページ

### 第3の責任



情報の適正な開示

→32ページ

### 3つの責任の前提



法令と社会倫理の遵守

→33ページ



安全で活力ある  
職場の実現

→26ページ



情報セキュリティの確保

→28ページ



環境保全と持続可能な  
社会の実現

→30ページ

25ページより、重点テーマ別に2016年度の主だった活動を紹介しています。なお、詳細なCSRマネジメント報告(目標・実績)については、35ページより掲載しています。



事業継続のための  
体制構築

→34ページ